

1 平和記念式典について

今回、僕たちが参加した平和記念式典は、原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈念するため、平和記念公園の原爆死没者慰霊碑前において、原爆死没者の遺族を始め、市民多数の参加のもとに平和記念式典を挙行しています。式典の中で広島市長によって行われる平和宣言は、世界各国に送られ、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けています。

この式典は1947年に広島平和祭として第1回が催され、当時の広島市長である浜井信三さんが平和宣言を行いました。

今回の式典には、安倍総理やケネディ駐日大使をはじめとする世界68か国の代表、そして遺族の方や一般の方など合わせて4万5千人の人が式典に参加しました。

この式典を平和のために、これからもずっと続けていってほしいと思います。

2 心に残ったこと

みなさんは、黙とうをしましたか。その時どんな祈りをささげましたか。私は、「戦争を起こしません。やすらかに眠り下さい。」とささげました。この言葉一つ一つが自分、天国にいる被爆者の人々の心に残るメッセージだと思います。

平和への誓いを聞いて広島が強さと言っていましたが広島の復興はすごいと思いました。原子爆弾が落とされわずか3日で市内電車は復興し、水道は1日も止まらなかったそうです。あんなにすごい被害を受けてるのにそんなに早いなんてと思いました。

私は心に残るあいさつがありました。みなさんは、どなたの挨拶が心に残りましたか。私は、国連事務総長の挨拶です。英語を話されていて全然内容がわかることができませんでした。そのことがくやしくて心に残ったのではなく、言葉は通じ合えなくても、心が通じ合っているように思えたからです。人はそれぞれ戦争について考えることは違うと思いますが、心を通じ合わせることができたら戦争が無くなる平和な世界へとつながると考えさせられた挨拶でした。

式も後半になり、広島平和の歌を歌っているときです。近くにいた外国人の方が日本語で歌っていたのです。はっきりとした発音ではありませんでしたがしっかりと、力強く歌っているのを聴いて『この日のために事前に歌を聴いて覚えてきてくださっていたんだな』と感動しました。この人も日本や世界の平和をいのってくれているんだなと思うと“今のような平和を私たちの世代もそのあともずっと守っていきたい”という気持ちが強まりました。

この歌は、雨が降っていたにもかかわらず訪れた、お年寄り、小さい子、若い男性だけでなく子連れのお母さんや外国人という沢山の人が歌っていて、この歌を通してみんなが一つになれた気がして嬉しかったです。

私は、広島平和記念式典に参加して改めて日本が唯一の原爆被爆国であることを身に染みて感じました。安倍内閣総理大臣をはじめ、国外からのたくさんの来賓の方々

や被爆者、ご遺族の方々が参列していました。スピーチでは皆が69年前の8月6日を振り返りあの出来事があったからこそ分かる原爆の悲惨さや命の尊さを語っていました。戦争を経験したことの無い今の若い世代が今後未来を担うにあたって日本が世界で唯一の被爆国であるという事実を自覚しなくてはいけないなと思いました。私たちは広島平和記念式典に参加して、たくさんの「心に残ること」ができました。平和の大切さや戦争の恐ろしさを未来に伝えていく為に大切だと思います。

3 式典から学んだこと

平和記念式典、それは今までテレビで見るとような、遠い存在でした。ですが、僕たちは実際に参列し、たくさんのお話を学んできました。テレビでは感じられない、重々しい雰囲気がありました。

式典には、内閣総理大臣、広島市長、県知事などたくさんの方々が来ていて、日本の平和への意識が強いのだと改めて感じました。雨の中、参列していた人たちの中でも大半がお年寄りの方々でした。戦争の悲惨さを後世に語りついでくれる方々がどんどん年をとって行く中、僕たち中学生が参列出来てよかった。そして今度は僕たちが受け継ぐ番なのだということを学びました。

平和への誓いからは、今、ここにいること、あたりまえのことが平和である。平和な世の中にするには小さなことから始めて、大きな力にしていく。ということ学びました。学んだことをこれからの生活で活かしていきたいです。

貴重な体験ができたものの、今年は40年ぶりの大雨で移動や座ることが大変でした。また、話している方の声も聞きづらく、写真もとりにくかったです。ですが、その分よく聞こうとして、心で聴くことができました。

最初の疑問であった「平和とはなにか」が少し分かった気がします。それは、いろいろありました。戦争をしない、核を使わない、ということだけでなく、子どもが大人になる、や、世界中の全員が生きられる、というようなあたりまえのようなことだと、改めて知りました。

広島に来る前までは「平和」が当然だと思っていました。ですが、今の日本を、世界を作り出すためには、大勢の方のたくさんの努力があってこそだと思います。また、その方達がかんばってくれなければ、今の日本がないですし、この原爆の怖さを伝えていけなかったかもしれません。

式典の中で安倍総理や広島県知事、広島市長は、「もう二度と核を使ってはならない。」とおっしゃっていました。国連事務総長のあいさつからは、「一緒に平和な未来をつくりましょう」というメッセージが伝わってきました。

今のこの平和な日本をつくるためにたずさわった方々に感謝します。そして、たくさんの命を戦争や核で失わないように、この平和記念式典も続けて欲しいと思います。

以上